
農業振興に関する市民アンケート調査 報告書

【概要版】

平成 26 年 3 月
長野市議会

目次

1 調査の概要	1
2 アンケート調査結果	2
回答者の属性について	2
食の安全・安心、農業、地産地消について	5
農産物の購入状況について	7
農業・農地・農村について	11
長野市の農業振興への取組について	14

1 調査の概要

(1) 調査の目的

農業や農産物に対する市民ニーズ、市の農業政策に対する市民の考え方などを調査し、今後の農業政策の基礎資料とする。

(2) 調査対象

長野市内に在住の20歳以上の男女

(3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成26年2月16日現在）からの等間隔無作為抽出

(4) 標本総数

5,000人

(5) 調査方法

アンケート調査票送付（返信用封筒を同封）によるアンケート調査方式
アンケート調査票発送後、回収率を向上させるため、協力をお願いするはがきを郵送

(6) 調査期間

平成26年2月28日（金）から3月14日（金）まで

(7) 回答結果

有効（送達）標本数	4,979件
無効（未送達、返却）標本数	21件
回収標本数	3,124件
有効標本回収率	62.7%

(8) 報告書の見方

図表中の「n」（Number of case の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。

図表中の構成比は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点第2位以下を四捨五入している。したがって、内訳の合計が100%にならない場合がある。

複数回答を求めた設問では、回答が2つ以上あり得るので、比率の合計が100%を超える場合がある。

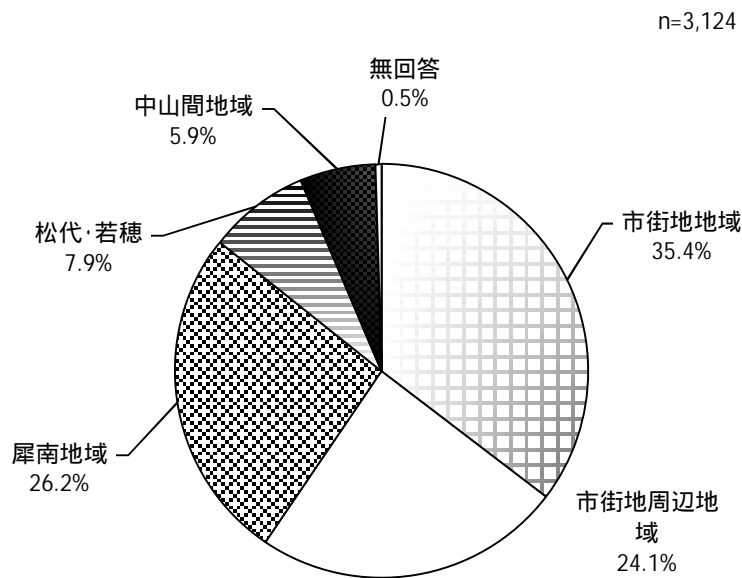
2 アンケート調査結果

【回答者の属性について】

(1) 地域

問1 あなたのお住まいの地区を教えてください。次の中からお住まいの地区の番号に をしてください。

「市街地地域」が35.4%で最多、以下「犀南地域」26.2%、「市街地周辺地域」24.1%と続いた。



地域区分別構成

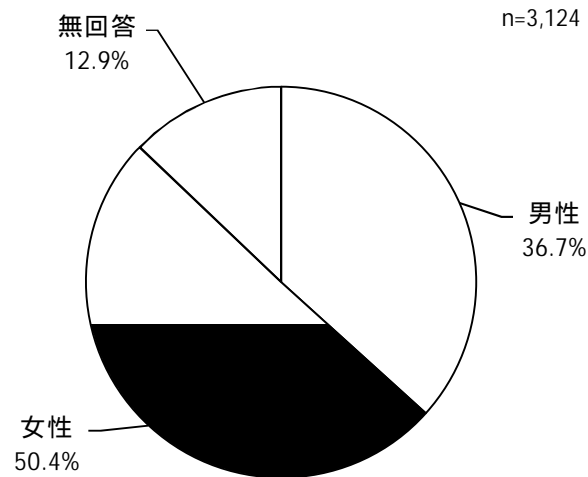
地域区分	地区名
市街地地域 (10地区)	第一地区、第二地区、第三地区、 第四地区、第五地区、芹田地区、 古牧地区、三輪地区、吉田地区、 安茂里地区
市街地周辺地域 (8地区)	古里地区、柳原地区、浅川地区、 大豆島地区、朝陽地区、 若槻地区、長沼地区、豊野地区
犀南地域 (3地区)	篠ノ井地区、川中島地区、 更北地区
松代・若穂 (2地区)	松代地区、若穂地区
中山間地域 (9地区)	小田切地区、芋井地区、七二会地区、 信更地区、戸隠地区、鬼無里地区、 大岡地区、信州新町地区、中条地区

(2) 年代・性別

問2 あなたの年代、性別を教えてください。次の中からあてはまる番号に をしてください。

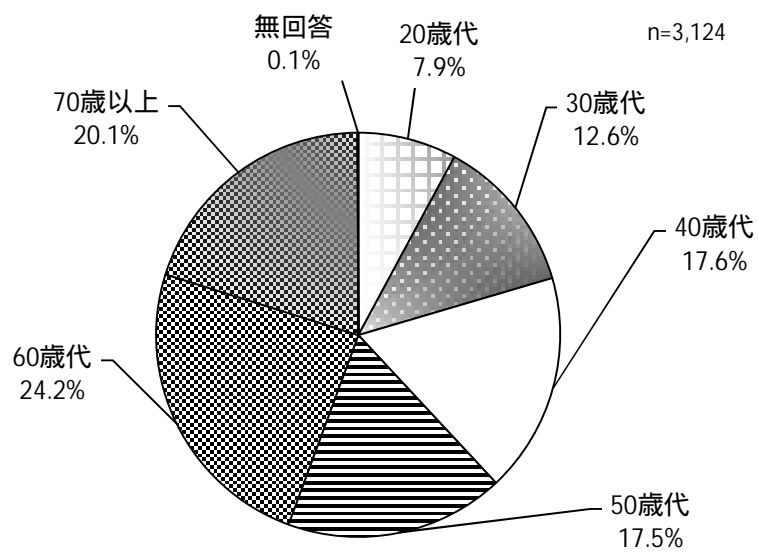
性別

「男性」が36.7%、「女性」は50.4%であった。



年代

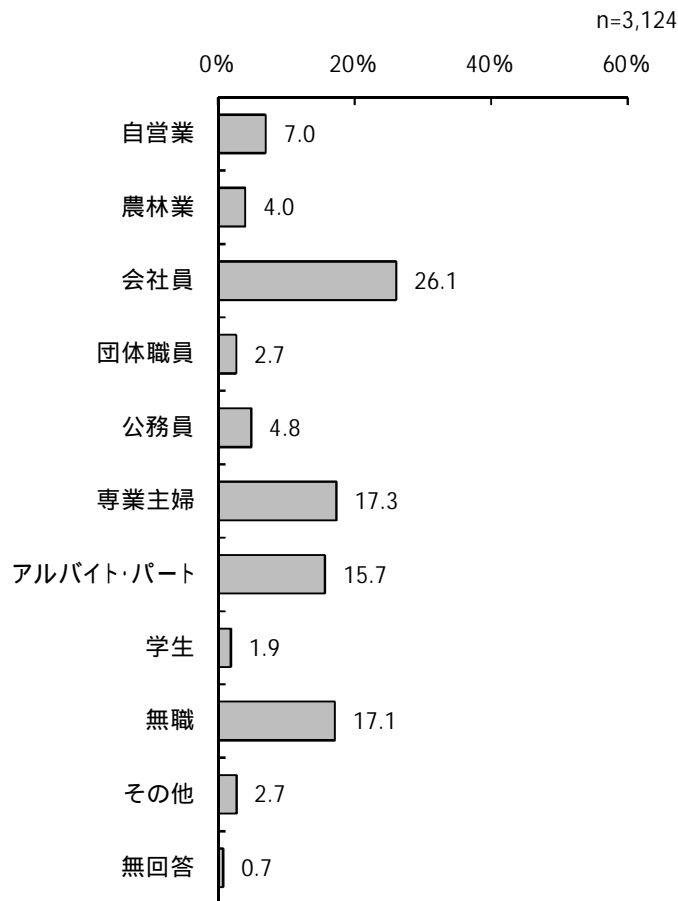
「60歳代」が24.2%で最多、以下「70歳以上」20.1%、「40歳代」17.6%、「50歳代」17.5%と続いた。



(3) 職業

問3 あなたの主たる職業を教えてください。次の中から1つだけ選んで番号に をしてください。

「会社員」が26.1%で最多、以下「専業主婦」17.3%、「無職」17.1%、「アルバイト・パート」15.7%、「自営業」7.0%、「公務員」4.8%と続いた。



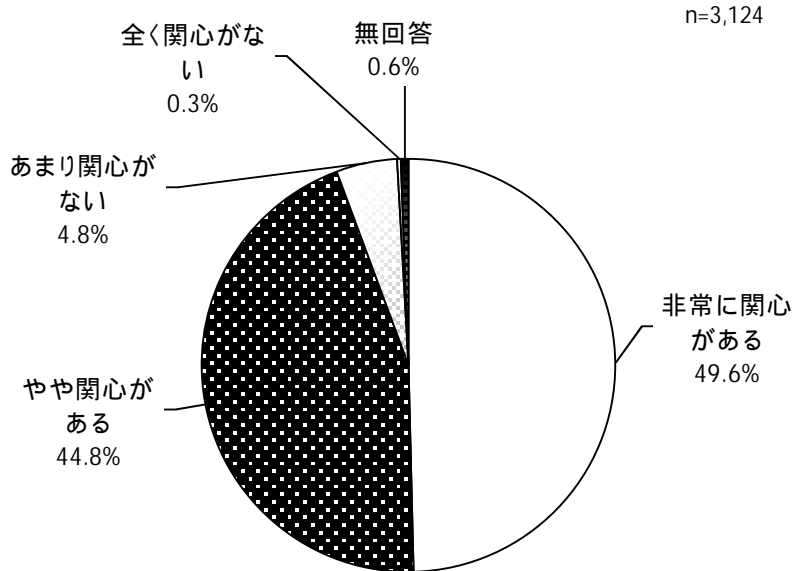
【食の安全・安心、農業、地産地消について】

(1) 食の安全・安心について

問4 あなたは、食の安全・安心について関心がありますか。次の中から1つだけ選んで番号に をしてください。

「非常に関心がある」が49.6%で最多、以下「やや関心がある」44.8%、「あまり関心がない」4.8%と続き、「全く関心がない」は0.3%であった。

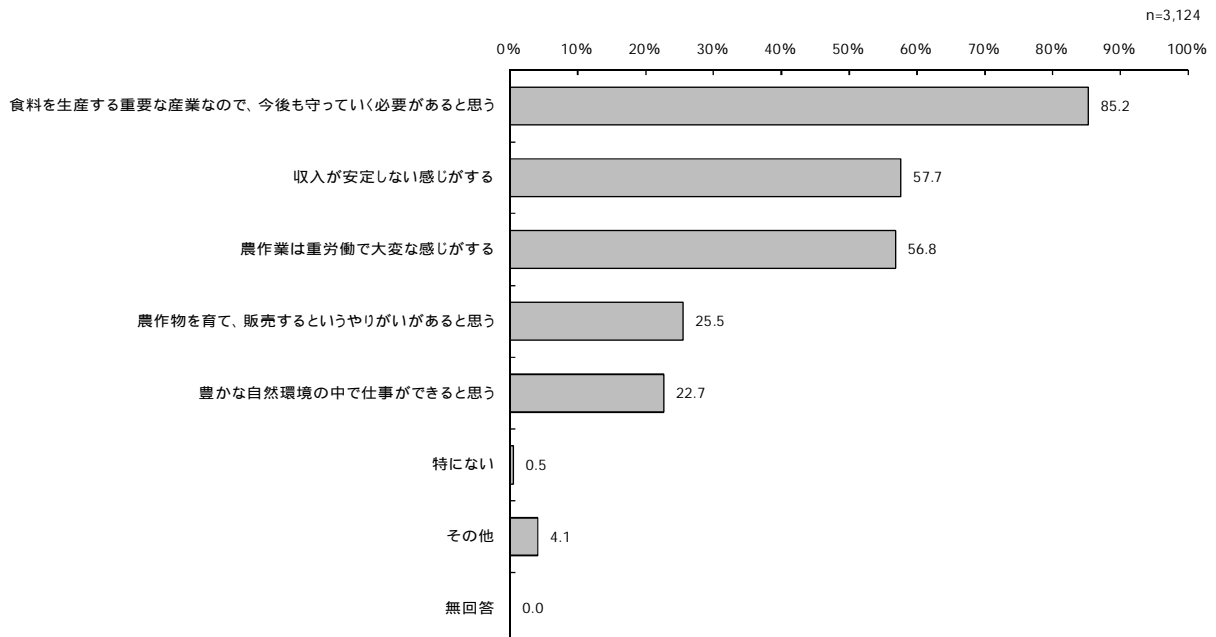
「非常に関心がある」および「やや関心がある」を合算すると、9割以上が食の安全・安心について関心をもっている。



(2) 農業に対するイメージ

問5 あなたは、農業に対してどんなイメージをお持ちですか。次の中から3つ以内で選んで番号に をしてください。

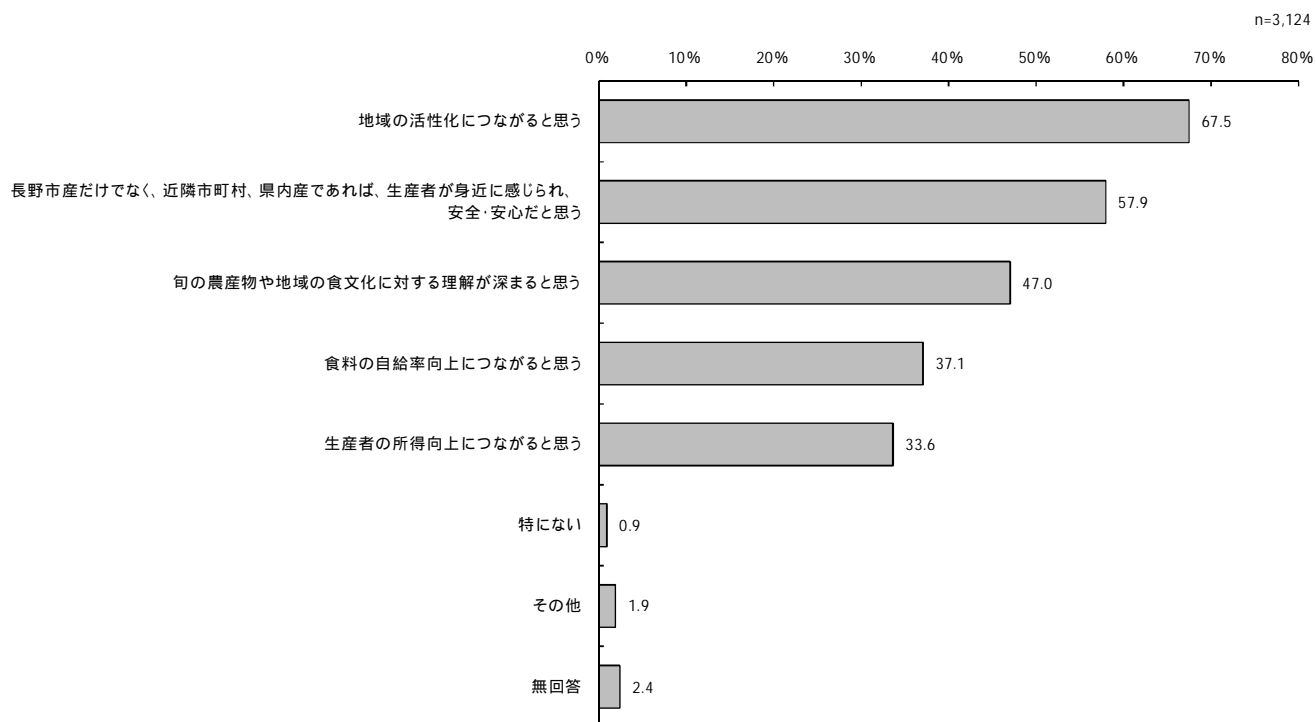
「食料を生産する重要な産業なので、今後も守っていく必要があると思う」が85.2%で最多、以下「収入が安定しない感じがする」57.7%、「農作業は重労働で大変な感じがする」56.8%、「農作物を育て、販売するというやりがいがあると思う」25.5%、「豊かな自然環境の中で仕事ができると思う」22.7%と続いた。



(3) 地産地消についてのイメージ

問6 あなたは、地産地消(市内での地元農産物の消費)についてどんなイメージをお持ちですか。次の中から3つ以内で選んで番号に をしてください。

「地域の活性化につながると思う」が67.5%で最多、以下「長野市産だけでなく、近隣市町村、県内産であれば、生産者が身近に感じられ、安全・安心だと思う」57.9%、「旬の農産物や地域の食文化に対する理解が深まると思う」47.0%、「食料の自給率向上につながると思う」37.1%、「生産者の所得向上につながると思う」33.6%と続いた。

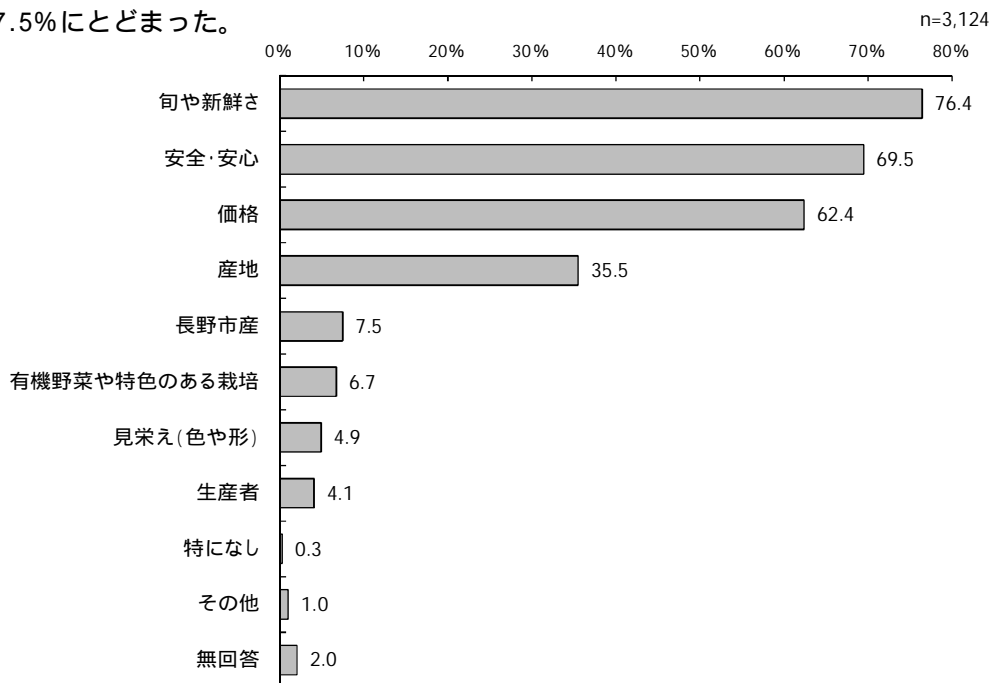


【農産物の購入状況について】

(1) 農産物購入の際に重視していること

問7 あなたは、何を重視して農産物を購入していますか。次の中から3つ以内で選んで番号に をしてください。

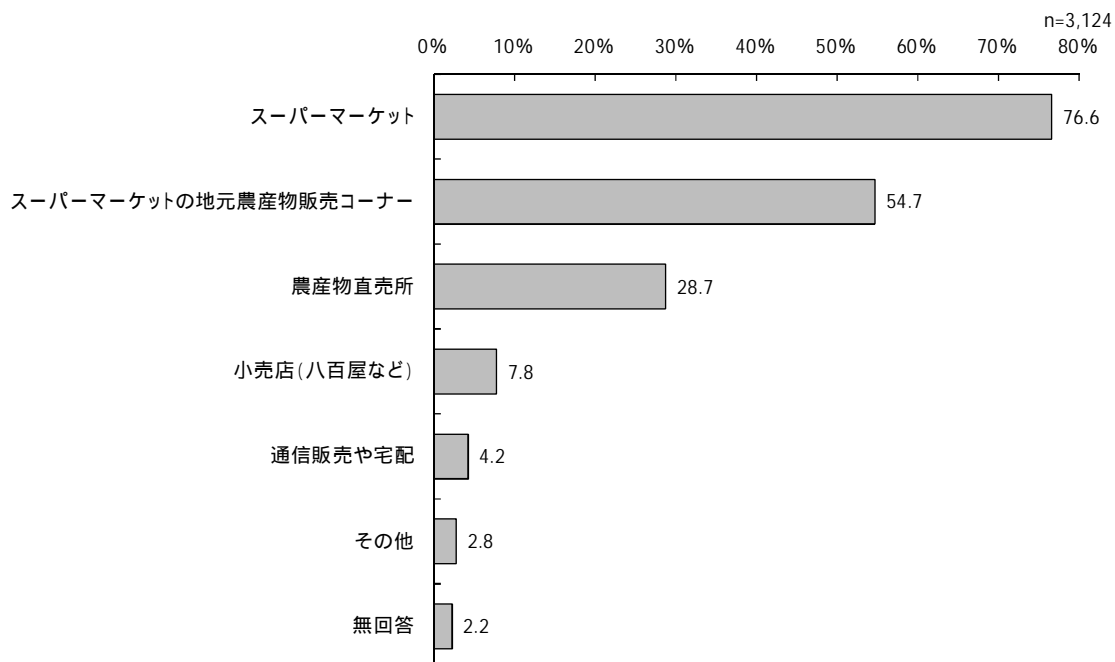
「旬や新鮮さ」が76.4%で最多、以下「安全・安心」69.5%、「価格」62.4%、「産地」35.5%と続いた。「長野市産」は7.5%にとどまった。



(2) 農産物の購入場所

問8 あなたは、農産物を主にどこで購入していますか。次の中から2つ以内で選んで番号に をしてください。

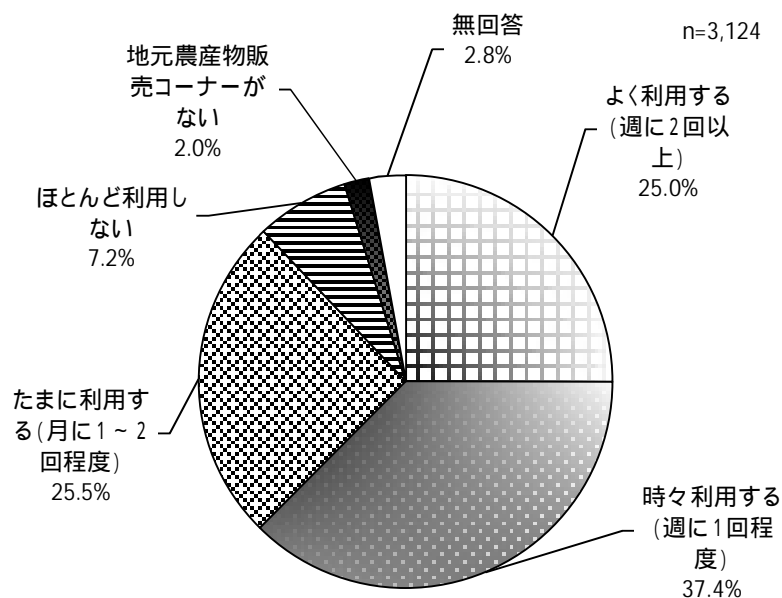
「スーパーマーケット」が76.6%で最多、以下「スーパーマーケットの地元農産物販売コーナー」が54.7%、「農産物直売所」28.7%と続いた。



(3) スーパーマーケットの地元農産物販売コーナーの利用頻度

問9 あなたは、スーパーマーケットの地元農産物販売コーナーをどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つだけ選んで番号に をしてください。

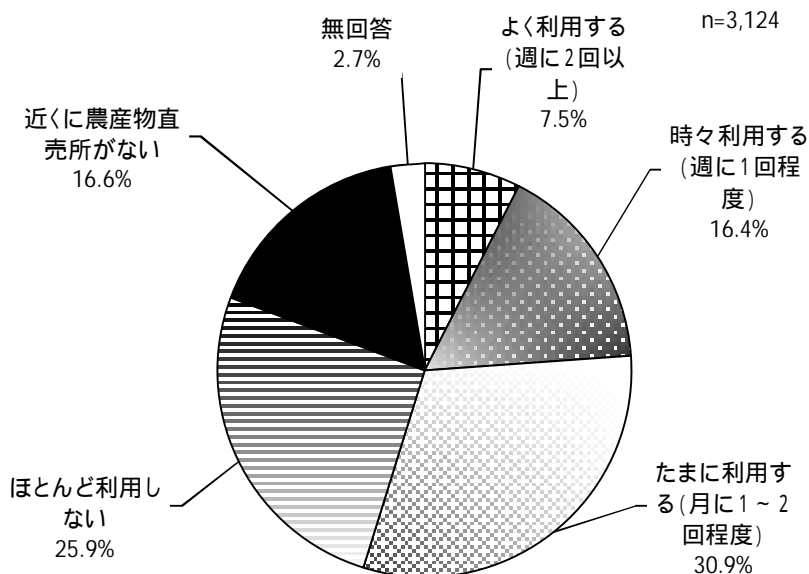
「時々利用する（週に1回程度）」が37.4%で最多、以下「たまに利用する（月に1～2回程度）」25.5%、「よく利用する（週に2回以上）」25.0%と続いた。「ほとんど利用しない」は7.2%にとどまった。



(4) 農産物直売所の利用頻度

問10 あなたは、農産物直売所をどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つだけ選んで番号に をしてください。

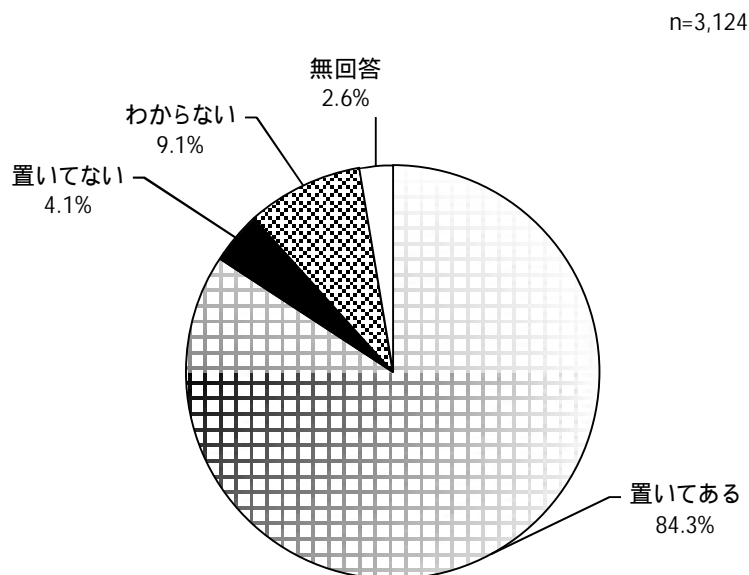
「たまに利用する（月に1～2回程度）」が30.9%で最多、以下「ほとんど利用しない」25.9%、「近くに農産物直売所がない」16.6%、「時々利用する（週に1回程度）」16.4%と続いた。



(5) 長野市産農産物の販売状況

問 11 あなたが買い物をするお店には、長野市産の農産物は置いてありますか。次の中から1つだけ選んで番号に をしてください。

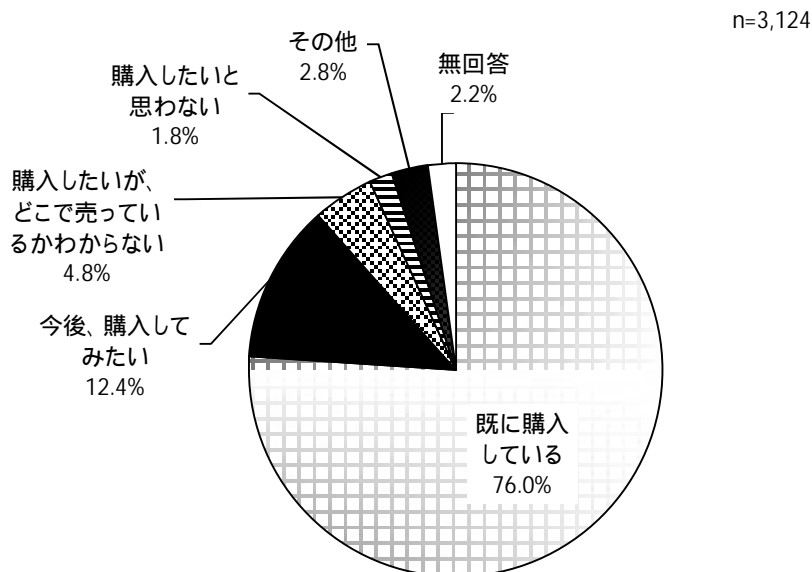
「置いてある」が84.3%で最多、以下「わからない」9.1%、「置いてない」4.1%と続いた。



(6) 長野市産農産物の購入状況

問 12 あなたは、長野市産の農産物を購入したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に をしてください。

「既に購入している」が76.0%で最多、以下「今後、購入してみたい」が12.4%、「購入したいが、どこで売っているかわからない」4.8%、「購入したいと思わない」1.8%と続いた。

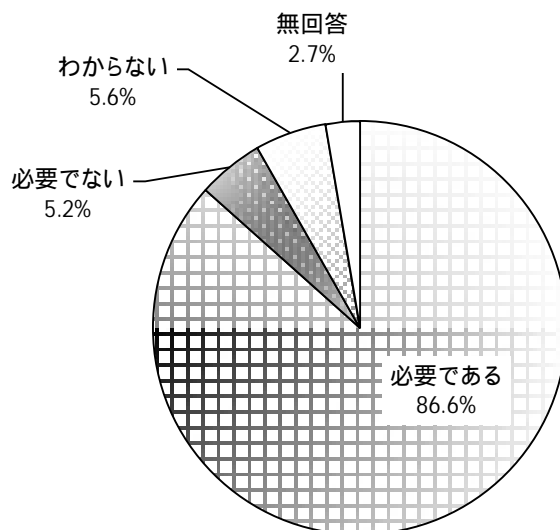


(7) 長野市産農産物の表示について

問 13 あなたは、長野市産の農産物であることがすぐにわかる表示が必要だと思いますか。次の中から 1 つだけ選んで番号に をしてください。

「必要である」が 86.6%で最多、以下「わからない」5.6%、「必要でない」5.2%と続いた。

n=3,124

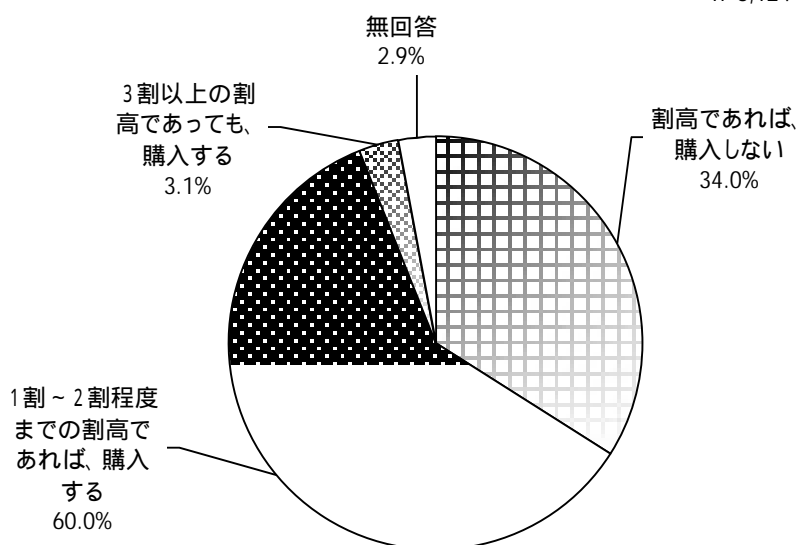


(8) 安全・安心やおいしさにこだわった農産物の購入価格について

問 14 あなたは、安全・安心やおいしさにこだわった農産物について、値段がどのくらいの割高であれば購入しますか。次の中から 1 つだけ選んで番号に をしてください。

「1割～2割程度までの割高であれば、購入する」が 60.0%で最多、次いで「割高であれば、購入しない」34.0%となり、「3割以上の割高であっても、購入する」は 3.1%にとどまった。

n=3,124

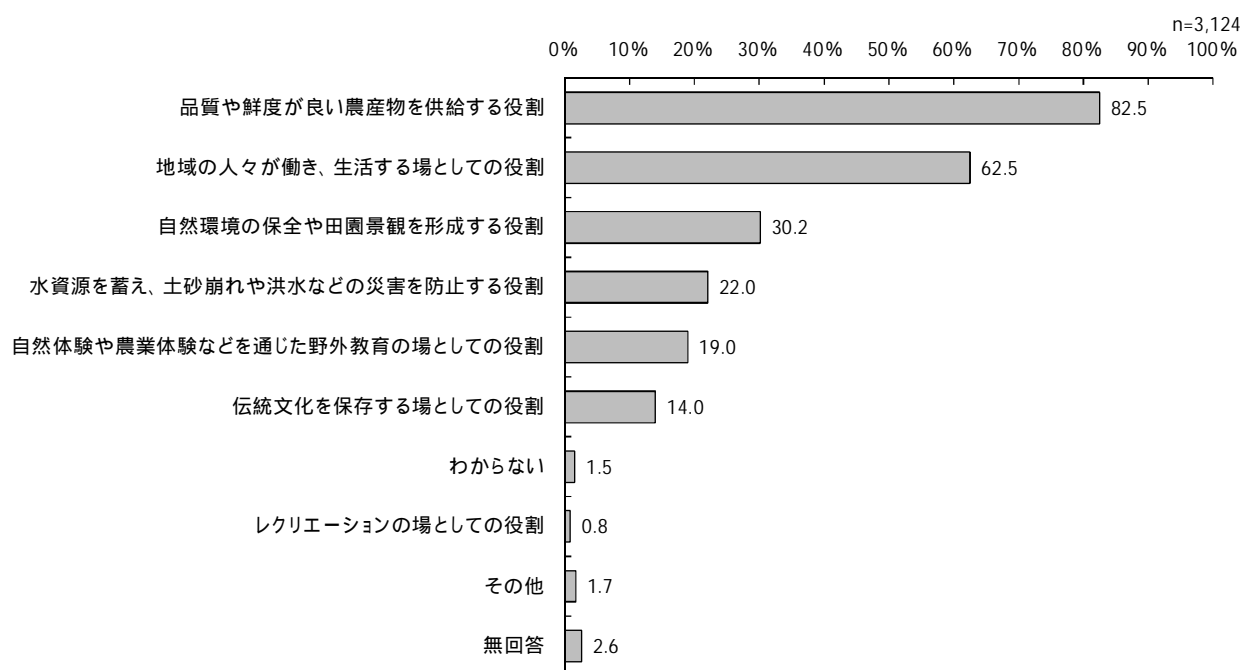


【農業・農地・農村について】

(1) 農業や農村が果たす役割

問 15 あなたは、農業や農村が果たす役割として何が重要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んで番号にしてください。

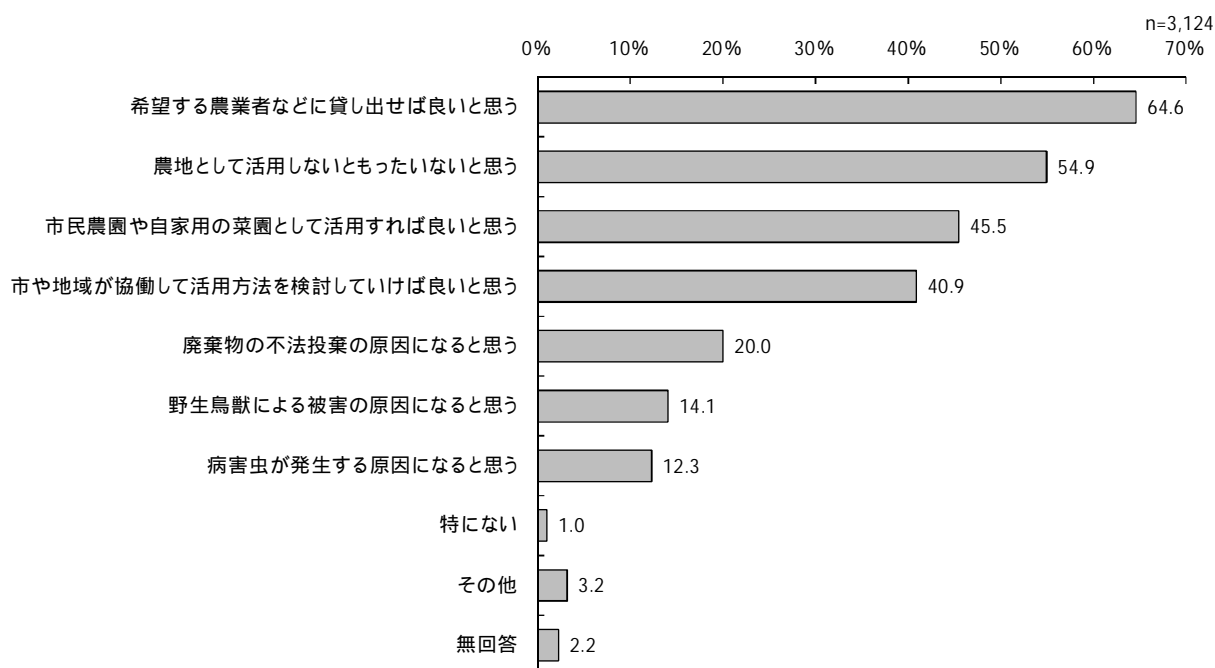
「品質や鮮度が良い農産物を供給する役割」が82.5%で最多、以下「地域の人々が働き、生活する場としての役割」62.5%、「自然環境の保全や田園景観を形成する役割」30.2%、「水資源を蓄え、土砂崩れや洪水などの災害を防止する役割」22.0%、「自然体験や農業体験などを通じた野外教育の場としての役割」19.0%と続いた。



(2) 耕作放棄地に対する考え

問 16 あなたは、耕作が行われていない荒れた農地に対してどんなお考えをお持ちですか。次の中から3つ以内で番号に をしてください。

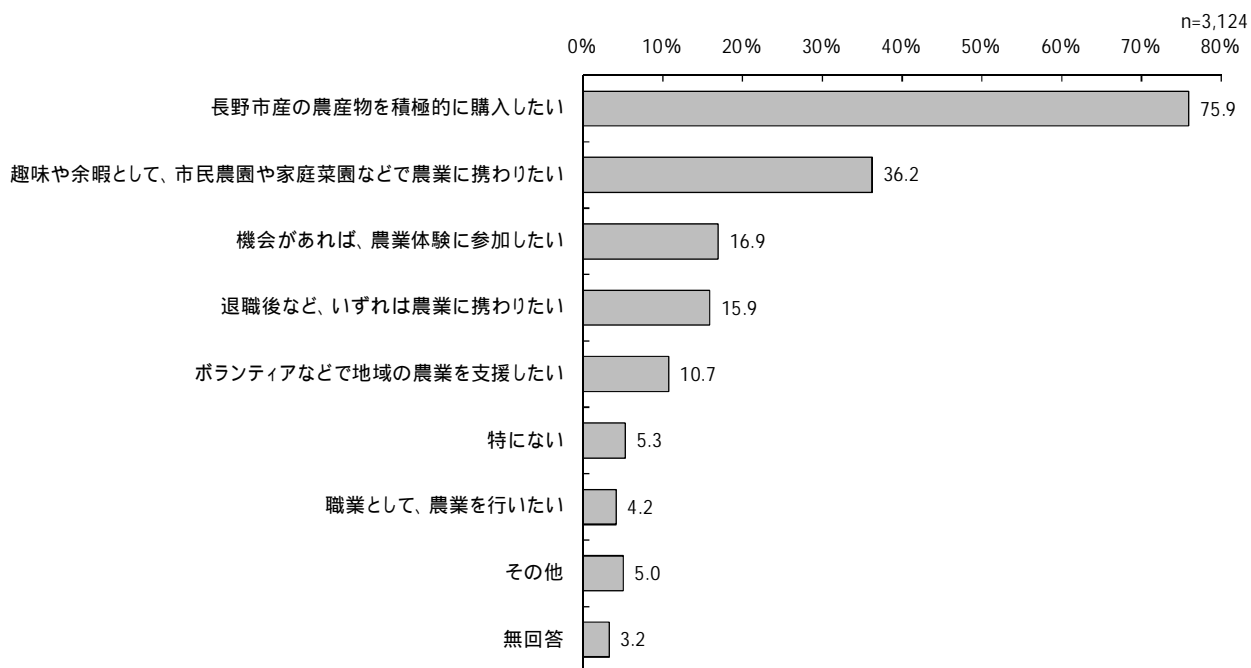
「希望する農業者などに貸し出せば良いと思う」が64.6%で最多、次いで「農地として活用しないともったいないと思う」が54.9%、「市民農園や自家用の菜園として活用すれば良いと思う」45.5%、「市や地域が協働して活用方法を検討していけば良いと思う」40.9%、「廃棄物の不法投棄の原因になると思う」20.0%と続いた。



(3) 農業や農村の活性化のために自身での取組が可能だと思うこと

問 17 あなたが、農業や農村の活性化のために取り組むことができると思うことは何ですか。次の中から3つ以内で番号に をしてください。

「長野市産の農産物を積極的に購入したい」が75.9%で最多、以下「趣味や余暇として、市民農園や家庭菜園などで農業に携わりたい」36.2%、「機会があれば、農業体験に参加したい」16.9%、「退職後など、いずれは農業に携わりたい」15.9%と続いた。

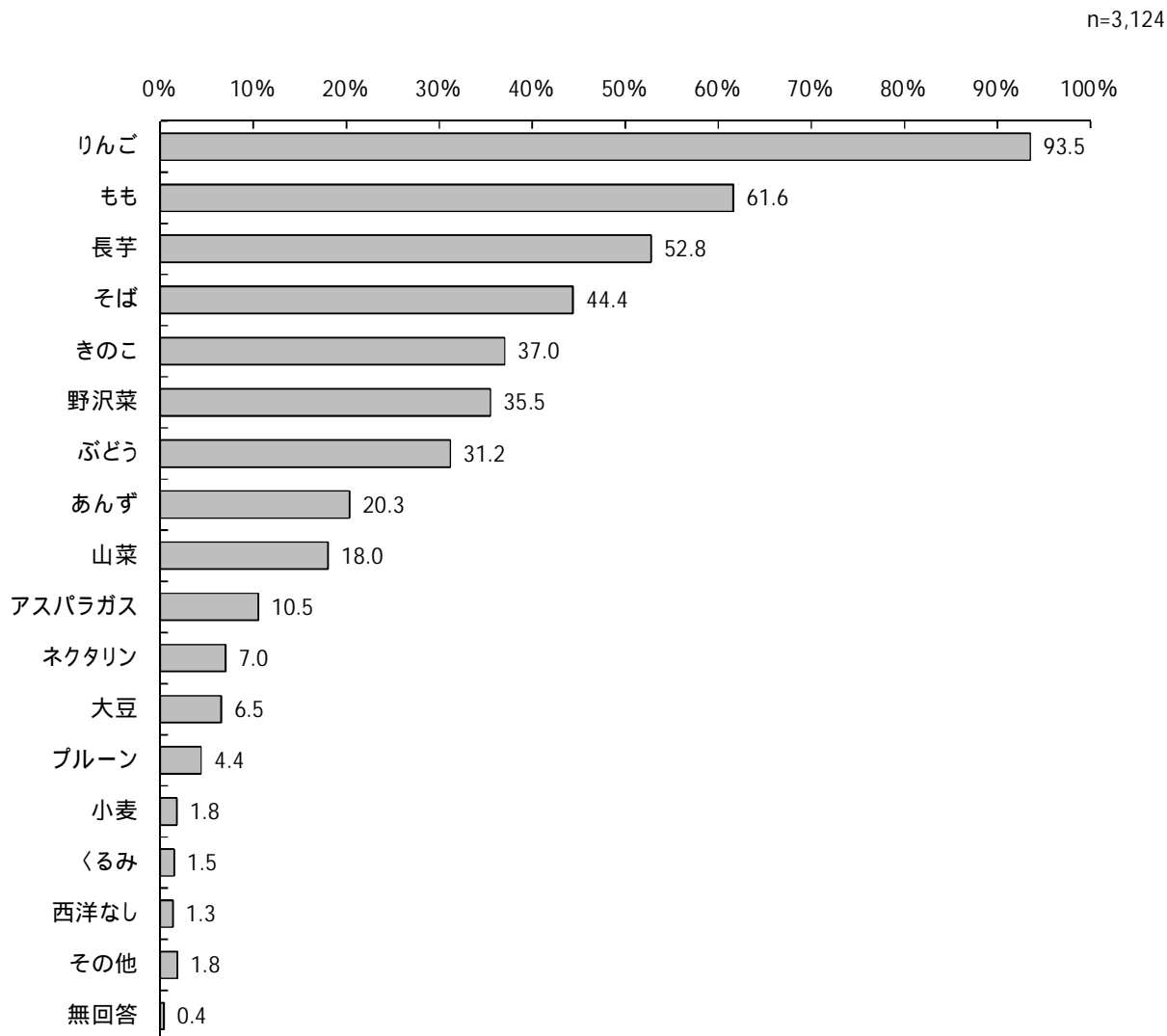


【長野市の農業振興への取組について】

(1) 長野市産農産物で特産品として思い浮かべるもの、推奨するもの

問 18 あなたが、長野市産の農産物で特産品として思い浮かべるもの、推奨するものは何ですか。次の中から 5 つ以内で選んで番号に をしてください。

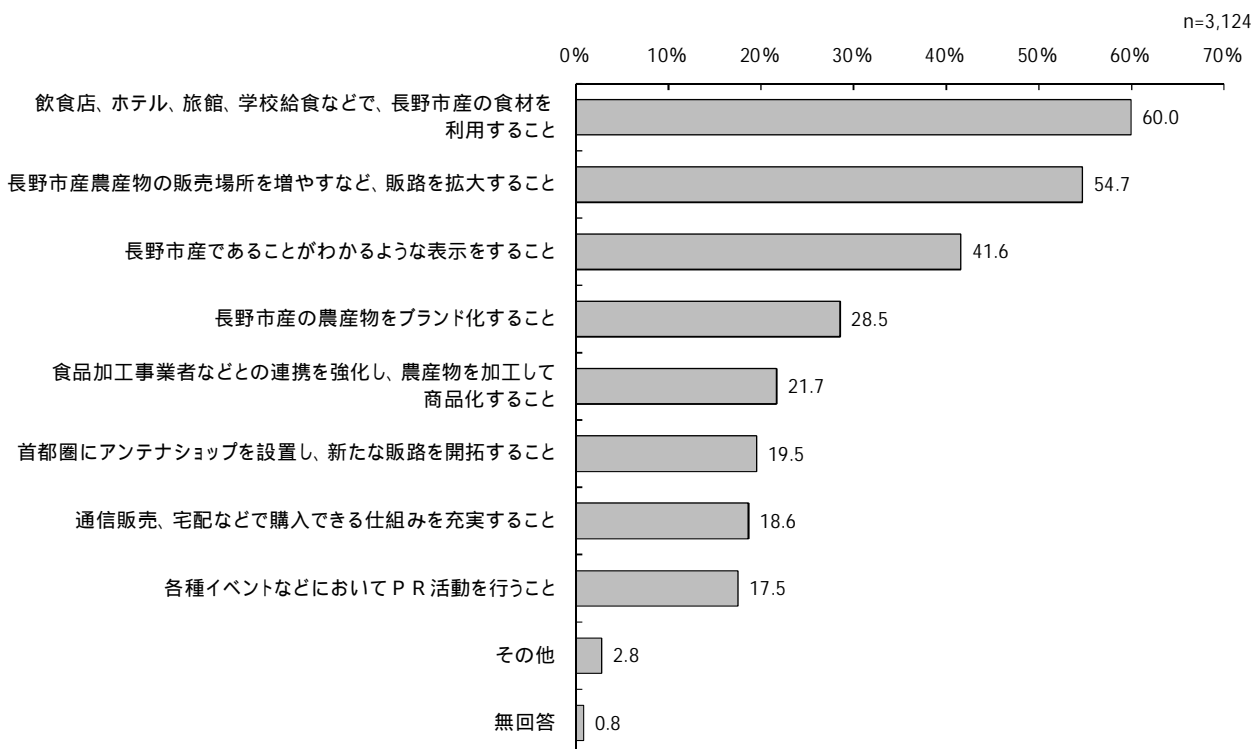
「りんご」が 93.5%で最多、以下「もも」が 61.6%、「長芋」52.8%、「そば」44.4%、「きのこ」37.0%、「野沢菜」35.5%、「ぶどう」31.2%、「あんず」20.3%と続いた。



(2) 長野市産農産物の販売を促進するために必要な取組

問 19 あなたは、長野市産農産物の販売を促進するために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んで番号に をしてください。

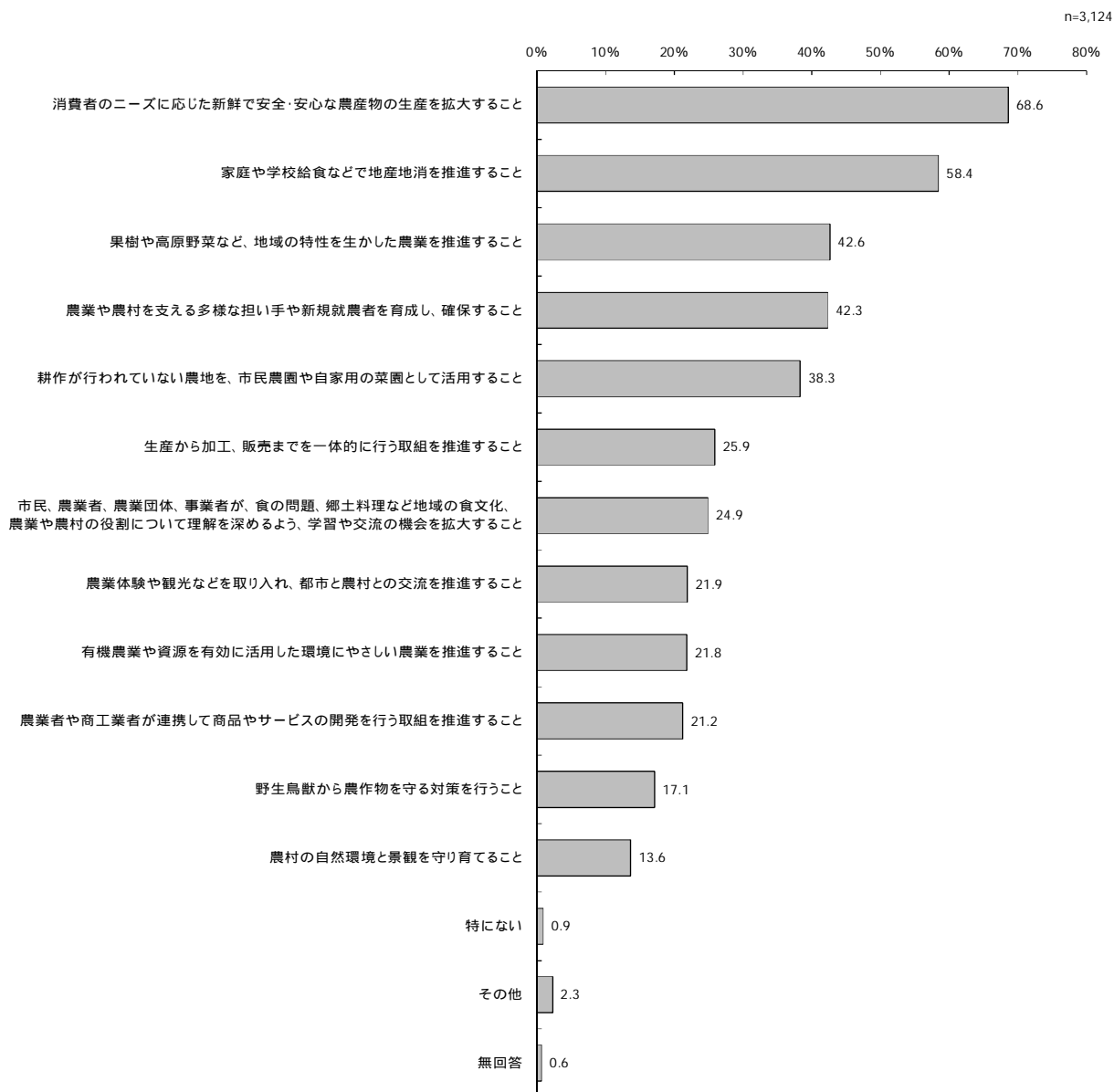
「飲食店、ホテル、旅館、学校給食などで、長野市産の食材を利用すること」が60.0%で最多、以下「長野市産農産物の販売場所を増やすなど、販路を拡大すること」が54.7%、「長野市産であることがわかるような表示をすること」41.6%、「長野市産の農産物をブランド化すること」28.5%、「食品加工事業者などとの連携を強化し、農産物を加工して商品化すること」21.7%と続いた。



(3) 長野市の農業政策に期待すること

問 20 あなたが、長野市の農業政策に期待することはどんなことですか。次の中から 5 つ以内で選んで番号に をしてください。

「消費者のニーズに応じた新鮮で安全・安心な農産物の生産を拡大すること」が 68.6%で最多、以下「家庭や学校給食などで地産地消を推進すること」が 58.4%、「果樹や高原野菜など、地域の特性を生かした農業を推進すること」42.6%、「農業や農村を支える多様な担い手や新規就農者を育成し、確保すること」42.3%、「耕作が行われていない農地を、市民農園や自家用の菜園として活用すること」38.3%、「生産から加工、販売までを一体的に行う取組を推進すること」25.9%と続いた。



平成26年3月 発行

発行:長野市議会

編集:長野市議会事務局 議事調査課

長野市大字鶴賀緑町1613番地 電話026(224)5057(直通)

E - Mail:g-tyousa@city.nagano.lg.jp

<http://www.city.nagano.nagano.jp/>

集計:株式会社 東京商工リサーチ
